

7月 すてっぴ

アスカーラとは 大野城まどかぴあ男女平等推進センターは、平成 25 年 4 月 6 日(土)のリニューアルオープンに伴い、愛称を募集しました。アス+スカーラの造語で、アスは明日・未来の意味で、スカーラはイタリア語で、階段やはしごの意味。明日に向かって、みんなで 1 歩づつ階段を上がっていくように男女平等を推進していきましょうという意味です。これからは、アスカーラと呼んでください。



▼CONTENTS▼

- ・事業レポート「大野城市男女共同参画条例制定記念講演会」「あなたとわたしのための元気塾①」
- ・アスカーラ 講座・イベント案内
- ・キッズルームでこんにちは
- ・この数字ってなあに? 「1.42」
- ・アスカーラフェスティバルのお知らせ
- ・相談室のご案内
- ・ひとりごと
- ・今月のアスカーラ

男女共同参画条例制定記念講演会

「未来につなぐ 私たちのまちづくり

～阪神・淡路／東日本大震災を乗り越えて～」

日にち:5月23日(土)

講師:山地久美子さん

(NPO 法人神戸まちづくり研究所副理事長・
大阪府立大学客員研究員)

男女共同参画と防災・災害復興とは…

地震、火山噴火、風雨災害など日々のニュースの中で災害国日本の現状を思い知らされている。阪神・淡路大震災、新潟中越地震、そして2011年の3・11東日本大震災においても数多くの課題が挙げられている。災害は誰もが被災者になりうるものであり、災害が起こる前に地域や自身の課題として取り組むことが必要だ。



講師の山地さんは、阪神・淡路大震災で被災され、災害・復興の調査研究を続けている。20年を迎えた今も課題は山

積しているとのこと。発災直後には多くの方が家屋や仕事を失い、先ず、避難所での生活再建がはじまる。そこで防災・災害復興を男性と女性の双方の視点から解き直す必要がある。これまで防災分野は「男性・成人・健常者」の視点から構築されてきたが、男女共同参画の立場から防災・災害復興へ積極的に取り組むことが重要だ。災害復興まちづくりでは

- 都市基盤の復旧 ○住宅の再建
- 生活の再建 ○産業・雇用の回復
- コミュニティの再生

が挙げられる。また、1995年阪神・淡路大震災時の兵庫県女性センターの活躍を受け、以降メディアも「女性の視点」に着目している。

災害復興過程で求められる男女共同参画

- ① 政策決定過程における女性参画の工夫
- ② 性別による役割固定化の改善
- ③ 女性の就労、起業活動に向けた柔軟な支援と復興基金の創設
- ④ 男女の個別のニーズに適応するための全国共通の被災者台帳と被災者手帳の導入

※NHK『視点・論点』「災害復興における男女共同参画」(山地久美子)

海外の例では、米国サンフランシスコ市は地震多発地域だが、米国有数の人気都市でもある。住宅の7割が賃貸であり、災害発生後人口が戻る確証はない。そこで日常的に積極的な人々の交流を図り、魅力的なまちづくりに取り組んでいる。Social Capital (社会関係資本) の構築がまちを強くしている。

市民防災の重要性は日常のまちづくりから…

☆国の中央防災会議は大臣の数に比例し、政策決定における女性の不在がある

☆非常時における自主防災組織が必要

☆テント生活時のボランティア…被災者でも若者や元気な人は自主的に協力する

☆コミュニティの形成を目指す地域づくりが大事

☆コミュニティラジオをつくる(あると大変便利)、大野城は現在ない

また、山地さんは大野城市の現在の防災状況を市長や来賓者、市の職員に次々と質問した。ちなみに、

☆福岡県防災会議は59名(会長含む)中、女性6名

☆大野城市防災会議は30名(会長含む)中、女性4名

大野城では…

「大野城市地域防災計画」

○避難所、仮設住宅等の運営における女性の参画
職員用の「避難所運営マニュアル」のみ。「住民用の運営マニュアル」の作成が必要では？

「第3次大野城市男女共同参画基本計画」

○防災における男女共同参画の推進

2011年12月決定の国の新たな「防災基本計画」には女性をはじめ、生

活者の意見を反映することが盛り込まれている。大野城市でも男女共同参画の視点で防災体制を確立し、男女のニーズの違い

を把握した防災の取り組みを進める必要がある。



縦に長い日本列島は、何処かで何かの災害が起きている。地震だけでなく、火山噴火、雨期に多い風雨水害など、油断ならないこれからの季節。先ずは自分の身は自分で守るが基本かも知れない。

(情報サポーター スピカ)

アスカラ主催講座のご案内

本格的な夏を前に、バ・カ・ン・スの予定を計画中の方も多いのでは？では、「出かける予定はない」方へのオススメ。アスカラにいらっしゃいませんか？ゆっくり過ごせるスペースや子どもさんと遊べるキッズルームもありますよ。恒例のフェスティバルもお楽しみに！



スキルアップのための資格取得講座 実践！JW-CAD 中級講座

| 日時・会場 | 内容 | 講師とテーマ |
|--|--|--|
| 9/4(金)～9/18(金) (毎週月・金/全5回) 18:30～21:30 202 会議室 (2階) | JW-CADとは… 専門的な分野の利用のみならず 看板、チラシ広告、衣服デザイン、 名刺の製作にも幅広く利用されて います。今回は昨年度の初級講 座よりランクアップして、中級講 座を行います。利用しやすい操作 性で多くの人たちに利用されて います。 | 講師：竹中 ひとみさん (まどかぴあ生涯学習センター講師) 受講料：8,000円(テキスト・資料代含む) ※商工会員は5,000円 定員：20名(先着順) 申込期間 7/21(火)～8/7(金) 申込先：大野城市商工会 電話 092(581) 3412 FAX 092(581) 3703 主催：大野城市商工会 |



スキルアップのための資格取得講座 福祉住環境コーディネーター2級講座

| | | |
|---|--|--|
| 9/17(木)～11/12(木) (毎週月・木/全15回) 18:30～21:00 304 会議室 (3階) | 福祉住環境コーディネーターとは… 高齢者や障害のある方が安心で きる住環境づくりのために各種 専門家(建築士、ケアマネージャ ーなど)と連携を取りながら、コ ーディネートする人材です。自分 や家族のために役立つ知識を学 び、検定に挑戦してみませんか。 | 講師：筑紫地区商工会工業振興協議会契約講師 受講料：17,000円(テキスト代別途4,860円) ※商工会員は9,000円 定員：35名(先着順) 申込期間：8/3(月)～8/28(金) 申込先：那珂川町商工会 電話 092(952) 2949 FAX 092(952) 9101 主催：筑紫地区商工会工業振興協議会 |
|---|--|--|



スキルアップのための資格取得講座とは、結婚・育児などの理由で退職し再就職をめざす方や、仕事能力のスキルアップをして再就職や転職を有利にしたい方のための講座です。大野城市内在住・在勤で、生活保護・児童手当等を受給している方を対象に受講料減額制度もあります。詳細は男女平等推進センターまで

わくわくカフェにいらっしゃいませんか？

いろんな世代の人が楽しく語り合えるカフェを、毎月第4水曜日に中央コミュニティセンターで開催します！！

楽しいイベントと「飲み物+手作りお菓子」が待ってるよ

7月イベント：親子エコ教室(先着30組)

協力：九州電力株式会社南営業所

<期 日>毎月第4水曜日

<時 間>11:00～15:00

<会 場>大野城市中央コミュニティセンター2階 談話室

<参加料>無料

<イベント申込先>090(7399)1560 志岐まで



※わくわくカフェは、男女平等推進センター主催講座H26地域女性リーダー育成講座受講生“わくわくカフェプロジェクト”が企画運営しています

講座、イベント等のお申し込み・お問い合わせは

★男女平等推進センター アスカラ★

〒816-0934 大野城市曙町2丁目3番1号

TEL (092) 586-4030 FAX (092) 586-4031

ホームページ <http://www.madokapia.or.jp/>

開館日時/月曜日～金曜日 9時～19時 土・日・祝日 9時～17時

閉館日/第1・3水曜日 年末年始/12月28日～1月4日

右下のマークのある講座・イベントは
託児が利用できます。

開催日の1週間前までにお申し込み
ください。

・1人1回300円

・10か月～

小学校就学前まで





キッズルームで
★こんにちは★

<利用時間>
10:00~15:00
<場所>
まどかぴあ3階

※予約はいりません
※参加料は無料です
※未就学児が対象です

☀️ 今月のお楽しみ情報 ☀️

7月7、14、21、28日(火) 10:30~
担当:おひざでだっこ「おはなしのへや」
ぴよぴよ(妊娠中・0歳児) 第1・3火曜
よちよち(1・2歳児) 第2・4火曜

7月8日(水) 10:30~
担当:大野城子ども劇場

※毎週木曜日 10:30~12:00は、
まどかぴあの託児でおなじみの託児サ
ポーター“ママ・ポケット”の見守りが
あります。
子どもさんとゆっくり遊ぶ時間を楽し
んでください。

今月の元気キッズ!



いちと君(2歳2か月)は電車大好き!ブ
ロックも上手に組み立てます。そらちゃん
(1歳1か月)は、音楽に合わせて踊るの
が大好き!キッズルームで仲良しになり
ました。これからも一緒に楽しく、遊
んでね(*^_^*)



ご存知
ですか?

1.42

※参考:2015/6/5 厚生労働省による
平成26年人口動態統計(概数)

厚生労働省が6月5日発表した
2014年の人口動態統計によると、1
人の女性が生涯に何人の子どもを
産むのかを推計した合計特殊出生
率は1.42となり、9年ぶりに低下し
た。05年の1.26を底に穏やかに上
昇していたが、前年を0.01ポイント
下回った。原因は「団塊ジュニア」世
代が40代に入り、30代の出産が減
少。前年度の約7万人から5万人に
減少したもようだ。さらに20代の出
産が4年連続で低下したことも考え
られる。30代前半は9年連続で上昇
しているものの、20代の低下を補う
ことができず、全体では下回った。出
生率の低下は、結婚・出産の年齢が
上がっている事とも関係している。平
均初婚年齢は14年には男性31.1

歳、女性が29.4歳まで上昇した。女
性が第1子を産む平均年齢は1995
年に27.5歳だったが、30.6歳となり
22年連続上昇した。第1子の出産年
齢が上がると第2子以降の出産も減
る傾向にある。14年の第2子の出生
率は5年ぶりに低下した。晩婚化や
晩産化が一段と進んだことが出生率
を押し下げた可能性が高い。日本の
人口を維持するには、出生率を2.07
に引き上げる必要がある。出生率を
都道府県別にみると、沖縄の1.86が
トップで、東京の1.15が最低だった。
福岡県は1.46で前年より0.01ポイン
ト上昇した。政府は3月に発表した少
子化大綱で今後5年間を少子化対策
の集中期間とした。更なる少子化対
策や人口減への取り組みが急務だ。

第18回 アスカーラフェスティバル 人生は自分しだい

8/1(土)

あなたの人生の主役は「あなた自身」
自分らしく 前向きに輝ける自分をめざしましょう
さあ 一歩ふみだしてみませんか

13:30~16:00 (開場 13:00)

大野城まどかぴあ 1階 大ホール

前売り ¥800

当日券 ¥1,000

◆佐和子とスマのトークショー

出演:阿川佐和子(作家・エッセイスト)
林田スマ(大野城まどかぴあ館長)

◆オープニングコンサート

演奏:上村育代(ハープ)
森山仁美(フルート)



青少年の未来を拓くために

どこにも引き受け先がなく行き場のない問題児。彼らを引き取り、医師や臨床心理士と連携し、治療の専門知識を駆使した支援に取り組む。本講座は、



日本で唯一の「治療的里親」である、土井夫婦の奮闘的活動の話であった。

行き場がない問題児とは、児童養護施設・児童自立支援施設・情緒障害児短期治療施設などの児童福祉施設で育てられた子どもたちのこと。その中でも養育が困難になるような問題を繰り返す子どものことをいう。

その子どもたちは、多くが二重三重の困難を抱えている。親から虐待をうけたり、暴力事件や窃盗などの犯罪や非行を繰り返したりする事例。さらに発達障害や知的障害を抱えていることもあり、周囲との折り合いが著しく難しいといった事例もあった。

さて、土井ホームの世間的評価の高さはどこにあるのか考えてみた。子どもたちに愛情の欠損を補うことは重要項目であるが、愛情を注げば養育がうまくいくとは限らない。土井ホームでは、普通の家庭生活の持つ治療機能を実践していると説明された。例えば「朝の起床にはじまり、食事、学校、適度の運動、掃除や片付けといった日常のルーチンワーク」ということである。

また、土井講師の著書には、「子どもの回復のためのわが家の方略は、安全な生活空間において一貫した応答を繰り返しながら、こどもの内面に一貫性と連続性を生みだし、それと同時に子どもと周囲との絆を深め、その支えによって、子ども自身のエンパワメントを図ることでしょう。こうした24時間の生活全体を通じて、認知的・行動的な混乱状態にあった子どもに、二度と傷つかないという安全と安心を保障し、他律、社会律、自律というプロセスを

経て、最終的には自らの内的葛藤や衝動をコントロールし、自己の行動の主体としての自己統御力の獲得と社会的自立というゴールをめざします。」と記されていた。(土井講師 著書「神様からの贈り物 里親土井ホームの子どもたち」より抜粋)

要は、里親は子どもの横に居て、子どもの成長に従って、目をかけ手をかけてやることだと。もちろん、その子の特性に応じた対応が必要となるであろうが。ただし、どの子どもも大変な苦難を背負ってきており、里親だけで養育するのは大変だと推察される。

そこで、土井ホームはどう対処しているかというところ……。土井ご夫婦やホームで働く人達とのチームワークもさることながら、様々な支援機関や支援専門家の数にヒントがあった。2006年のデータではあるが、数値的に格段の差があるのだ。支援機関では全国平均の3.38に対して土井ホームでは13。支援専門家のそれは、全国平均の3.95に対して土井ホームでは16。4倍の数の専門家との連携がされていることが分かる。これは、土井講師が専門家の知恵や応援者の力を上手に活用し、養育実践されている証しだろう。



最後に困難を抱える少年の移行支援に求められることを次のように紹介された。

- ★多層的支援…皆が応援しているよ
- ★継続的支援…いつまでも応援するよ
- ★円環的支援…前行ったり後ろ行ったり
- ★家族機能…いつでも帰っておいで

(情報サポーター 倉町 賢一郎)

<土井ホームの概要(2015年5月現在)>

場所:北九州市

定員:12人(第1・第2ホーム併せて)

年齢:13歳~37歳(男女青少年)

対象:①虐待による2次障がい

②発達障害による2次障がい



相談のご予約・お問合せは・・・
☎092-586-4035

| 日 | 曜 | 予 | 定 |
|----|---|--------------------------------------|---|
| 1 | 水 | 休館日 | |
| 2 | 木 | 再就職準備講座② | |
| 3 | 金 | ハハ・ママのための読書タイム | |
| 4 | 土 | ハハ・ママのための読書タイム あなたとわたしのための元気塾② | |
| 5 | 日 | | |
| 6 | 月 | 託児サポーターフォローアップ研修① | |
| 7 | 火 | 啓発サポーター定例会 | |
| 8 | 水 | | |
| 9 | 木 | | |
| 10 | 金 | ハハ・ママのための読書タイム | |
| 11 | 土 | ハハ・ママのための読書タイム 市民グループ活動支援事業（ままいる） | |
| 12 | 日 | | |
| 13 | 月 | 託児サポーター定例会 | |
| 14 | 火 | 大野城市男女共生講座① | |
| 15 | 水 | 休館日 | |
| 16 | 木 | | |
| 17 | 金 | ハハ・ママのための読書タイム 情報サポーター編集会議 | |
| 18 | 土 | ハハ・ママのための読書タイム | |
| 19 | 日 | | |
| 20 | 月 | | |
| 21 | 火 | | |
| 22 | 水 | わくわくカフェ（中央コミ） | |
| 23 | 木 | | |
| 24 | 金 | ハハ・ママのための読書タイム 事業サポーター定例会 | |
| 25 | 土 | ハハ・ママのための読書タイム パパ大学② | |
| 26 | 日 | | |
| 27 | 月 | スキルアップ簿記3級① | |
| 28 | 火 | | |
| 29 | 水 | スキルアップ簿記3級② | |
| 30 | 木 | ヘルシーエクササイズ講座⑩ | |
| 31 | 金 | スキルアップ簿記3級③ | |

☆大野城まどかぴあ 相談室のご案内☆

全て相談は無料です。

まずはお電話でお問い合わせください。

■総合相談■ 月曜～金曜 9時～17時

※土・日・祝日と休館日はお休みです。

面接相談（要予約）と電話相談ができます。

■臨床心理士による相談■ 火曜・木曜 月4回

面接、電話相談。予約してください。

生き方、夫婦・親子関係、対人関係、仕事のこと、DVの相談など、気持ちの整理をしませんか。

臨床心理士が相談を受けます。

<今月の相談日程>

7月2・16・23日（木）、7日（火）

■法律相談■ 毎月第1～4木曜日 13時～16時

面接相談のみ。予約してください。

弁護士が相談を受けます。

■おしごと相談■ 毎月第2水曜日 10時～12時

面接相談のみ。予約時に①か②をお申し出ください。

①男女不問：賃金未払いや雇用形態、セクハラ等仕事の事なら何でも労働相談員が受けます

②再就職を目指す子育て中などの女性：就職全般の相談を就業アドバイザーが受けます

ひとこと 私には、中学3年から3歳（男4人・女3人）までの計7人の孫がいる。初孫誕生の思い出は、餅つきをしていた12月30日に、嫁ぎ先から帰省中の上の娘が産気ついたとの電話で帰宅。急ぎ産院へ連れて行った。「暫く待合室でお待ちください」の指示に待つこと1時間。看護婦さんの「元気な男の子さんですよ、抱いてみますか？」の声にびっくり、誰より一番先に抱くことになった。私は仕事で、二人の娘の誕生に立ち会っていない。私の父が立ち会ったので、同じ人生を歩んでいるのかなと不思議に感じた。

下の娘の第一子が27日生まれの男児、次が双子の女児で8日生まれと7人中4人が12月生まれ。暮れの出費には少々……痩せる思いの今日この頃なのだ。

最近、心根の優しい孫たちの誕生日に「手作りの木工作品」をプレゼントすることが楽しみである。今年4月保育所の用務員になり「130人の孫」に接することになった。この続きは次回のお楽しみに。
(情報サポーター しもおおりだんしゃく)



<編集>男女平等推進センター 情報サポーター <発行>大野城まどかぴあ男女平等推進センター アスカール
〒816-0934 福岡県大野城市曙町2-3-1
TEL/092(586)4030 FAX/092(586)4031
相談専用電話/092(586)4035 ホームページアドレス <http://www.madokapia.or.jp/>